

新型コロナウイルス感染症に関する3つのお願い

— デルタ株の流行による感染急拡大の局面を迎えて —

1. 新型コロナワクチンは必ず2回の接種を受けましょう。

ワクチンの効果を十分得るためには同じワクチンを一定の間隔を空けて2回受ける必要があります。1回のみでは効果は不十分です。

さらに、デルタ株がまん延している現在、2回接種しても時間の経過とともに効果が不十分になるとの懸念から追加で3回目の接種が予定されている国もあり、わが国でも検討されています。

特別の事情(接種不適合者)がなければ、まずはワクチンの2回接種を受けましょう(※)。

2. ワクチンを受けた後も感染予防対策を継続しましょう。

ワクチンを受けた方は、新型コロナウイルス感染症の発症や重症化をある程度予防できると期待されていますが、感染を100%防ぐことはできません。

デルタ株が流行している現在、ワクチンの2回接種を済ませた人たちの間でクラスターが発生したとの報道があります。いわゆる、「ブレイクスルー感染」であり、ワクチンを2回接種したからと言って安心はできません。

引き続き「3つの密(密集・密接・密閉)」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行などの感染予防対策を続けて下さい。また、感染拡大地域との不要不急の往来や大人数での会食などの感染を広めるリスクの高い行動は控えましょう。

ワクチンを未だ受けられていない方や、ワクチン接種を受けたくても受けることが出来ない方(接種不適合者)のためにも、しっかり感染予防して下さい。

3. 不織布マスクを着用しましょう。

感染予防策の一つである「マスクの着用」ですが、マスクの素材によって感染防止効果に違いが有ることが知られています。一般的なマスクでは、不織布マスクが最も高い効果を持ちます。次に布マスク、その次にウレタンマスクの順に効果があります。

つまり、しばしば見かけるウレタンマスクは、感染防止効果が最も低いということです。感染性の強いデルタ株が流行しており、出来るだけ感染予防効果が高いマスク、すなわち不織布マスクを着用すべきです。

もちろん、不織布マスクでも感染を完全に防ぐことは出来ません。正しく着用すること、人と人の距離を保つことなど、基本的な感染予防対策が必要なことは言うまでもありません。

令和3年8月23日
保健管理センター

※住民票が県外にあり、大学拠点接種で打っていない方はなるべく地元で打ちましょう。
岡山市での接種を希望する場合は、住所地外接種届が必要になります(ウェブサイトを参照)。

<https://www.city.okayama.jp/0000029387.html#link-vaccine4>